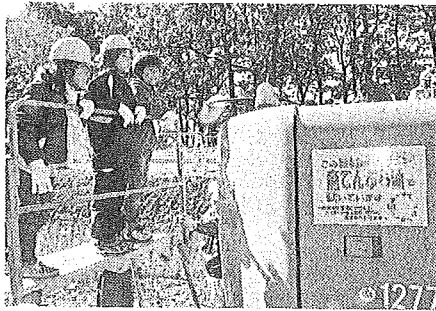


十勝毎日新聞

◆音更町の駒場小(作田博光校長、児童134人)の児童がBDF(バイオディーゼル燃料)活用の工事現場を見学

19日午前10時半、宮坂建設工業(帯広市、宮坂寿文社長)が施工する同町鈴蘭公園通改良工事現場で行い、4年生18人が参加した。

道路拡幅と傾斜軽減を図る工事で、環境に配慮した帯広



建設管理部のモデル事業の対象となっている。伊藤幸輔現

場代理人が、BDFの製造過程や管内使用状況を説明。軽油を使った通常のバックホーとBDFを使ったショベルカーの排気のおいを比較した写真。

BDFに関するO×クイズも行った。黒澤直君(9)は「BDFは焼き鳥やトンカツのおいがした」と感想。伊藤さんは「子供たちに環境への理解を深めてもらったので」と話していた。